

平成18年度日本木材加工技術協会第15回木質ボード部会シンポジウムが「真価を問う！ -アジア・パシフィック諸国における木質ボードの最新事情-」のテーマで開催されます。

日 時 平成18年11月17日（金）  
会 場 東京木材会館7F（江東区深川2-5-11 TEL 03-3641-9108）  
主 催 日本木材加工技術協会木質ボード部会

#### 講演

- 9:50～10:30 住生活基本法制定の概要  
経済産業省住宅産業窯業建材課
- 10:30～11:30 木質ボードの構造的利用、展望と課題  
独立行政法人建築研究所 中島史郎 氏
- 11:30～12:10 木質バイオマスと林業機械  
日立建機株式会社技術開発センター 瀧下芳彦 氏
- 12:10～13:00 （昼 食）
- 13:00～16:00 木質ボード各国の状況  
話題提供（予定）  
中国 Chinese Academy of Forestry, RIWI Ye Kelin 氏  
韓国 Kyungpook National University Byung-Dae Park 氏  
マレーシア University Putra Malaysia Paridah Tahir Md 氏  
インドネシア Bogor Agricultural University Yusuf S. Hadi 氏  
米国 Oklahoma State University Salim S. Hiziroglu 氏  
豪州 Australian Wood Panels Association David Thurlow 氏
- 16:00～17:00 総合討論

木質ボード類の生産状況、技術課題、原料事情、リサイクル原料の使用状況と問題点などについて各国の情報が紹介され、木質資源をめぐるグローバルな論議がなされるものと期待されます。

参加費：15,000円。参加希望者は、「日本繊維板工業会シンポジウム係（FAX:03-3271-6884）」宛にFAXにてお申し込み頂き、参加費を「群馬銀行東京支店 普通預金0289540 木質ボード部会」にお振込みください。

問い合わせは、鈴木滋彦(静岡大学農学部)E-mail : s-suzuki@agr.shizuoka.ac.jp まで。